

第11回悠久会神奈川支部ハイキングの報告

神奈川支部ハイキング担当 藤曲啓志(臨時代行)

日時：平成25年 6月 22日(土)

コース：JR・小田急小田原駅集合～小田原城～西海子小路～

早川口遺構～一夜城歴史公園～風祭(温泉・乾杯)～風祭駅～小田原駅解散

参加者：5名：池田邦彦(電33)、佐久間信義(機38)、相馬友一(子院46)、
吉井茂男(土51)、藤曲啓志(機53)

季節外れの梅雨時の台風が過ぎ去った6/22(土)に、晴天の中「太閤一夜城と小田原史跡巡り」ハイキングを楽しみました。

9時JR・小田急駅に集合し最初の目的地である小田原城を目指して出発。お堀端通りから橋を渡りさっそく記念撮影、きれいなアジサイを楽しみながら復元された馬出門、銅門、常盤木門をくぐって天守閣を仰ぎ見る本丸広場に9時30分に到着。天守閣は復元されたもので中は展示場になっており、15世紀中ごろに大森家が築城した始まりから、北条氏の盛隆、そして豊臣秀吉の小田原攻めなどの歴史にまつわる甲冑・刀剣・絵図・古文書などが展示されていました。最上階の廻縁からは、相模湾、伊豆半島、そして大島までが一望できとてもすがすがしい気持ちになりました。そして今回の目的地である一夜城公園を確認した後、11時より小田原の城下町へとハイキングを再開しました。

小田原城に隣接して、二宮尊徳ゆかりの神社がありここも見学。賽銭を投げ入れ本日の安全と楽しい1日となるよう祈りました。この神社には薪を背負って本を読みながら歩くおなじみの二宮金次郎像のほかに翁像もあり「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は戯言である」という格言が添えられていて、改めて優れた人物と感心しました。さらに国道1号線を横断して桜並木(春はとても綺麗)の西海子(さいかち)小路へと歩を進めていきました。西海子小路は武家屋敷が集まっていた小路で、現在でも広い敷地の邸宅が並ぶ静かな佇まいが往時をしのばせます。さらに早川に向かっていく途中に、小田原城大外郭の南の出入り口であった早川口遺構があり土塁や堀を見ることができるとガイドにありましたので寄ってみました。荒れ果てておりちょっとがっかりしました。

早川を通過して、いよいよ一夜城公園を目指して関白農道の登り道へと進んでいきました。3kmほどの舗装された登りは本日の難所でしたが、振り返ると今まで歩いてきた小田原の街並み、そして雄大な相模湾が眼下に見え、これに励まされて一気に登り切りました。

12時に到着した一夜城公園(標高262m)の登り口には駐車場とヨロイズカファームのレストランがありました。一夜城公園に登って昼食をと計画していましたが、待ちきれずに駐車場わきの東屋風休憩所で、ビールの栓を開け乾杯・昼食となりました。腹ごしらえが終わり、公園へ登ると城の跡地が芝生の広場になっていました。展望台からは小田原市街と相模湾が一望でき、その中に小田原城を見つけることができました。秀吉もここから小田原城を眺め、天下取りを確信したのでしょうか。

13時過ぎに風祭の温泉を目指して出発しました。最初の数百mは登りでしたが、そこから風祭(標高38m)まで一気の下りです。心地よい林道、江戸城の城壁用の石切り場跡、道に面した農地などを楽しみながら国道1号線に出て風祭駅そばの温泉八里にたどり着いたのは14時頃でした。温泉八里は

小さい(浴槽は5人ほどで満員)ですが、お湯はさらっとして肌によい本物の温泉です。温泉で汗を流した後、風祭駅に隣接する蒲鉾博物館テラスのテーブルにて、各種蒲鉾をつまみに箱根地ビールで乾杯してお疲れさん会となり、小一時間ほど歓談したのち小田原駅に戻り解散しました。

今回は、少し趣を変え歴史と文化に触れる約14kmのハイキングとなりました。地方都市小田原にまつわる知識を得ることができ、楽しい1日を過ごすことができました。



小田原城をバックに記念撮影です
主役は天守閣ですので悪しからず



二宮尊徳翁像とその教えの解説を見て、その奥深さに一同感心



一夜城公園の休憩所で昼食の乾杯！



一夜城公園にて



一夜城公園より小田原市街を望む
「小田原城見つけた！」



お疲れさん会の乾杯！
風祭駅に隣接する蒲鉾博物館にて